



外来看護師の服部恵利子さんが、メッセンジャーナースの認定を取得しました

メッセンジャーナースは、患者の心情を聞き出し、それを医師らに的確に伝えるといった、いわば通訳のような役割を果たしながら、患者が自己決定できるように支援する役割を担っています。

8月20日、三重県にメッセンジャーナースが誕生！ 看護師のメッセンジャー力の輪は着実に広がって行きます。

服部恵利子さんが、A認定を取得しました！

愛知・山形・兵庫・大阪から新たに加わった受講者、すでに認定を受けている山口・千葉・東京の同志、東京・神奈川・山口・岡山・愛媛・兵庫会場の講師らが見守る中で、吉田和子会長から認定証が画面上で手渡されました。第一歩を踏み出した瞬間、拍手と共に、素敵な笑顔が飛び交いました。

メッセンジャー認定協会ホームページより

メッセンジャーナースは、患者と医療者の対話の懸け橋として、2010年に誕生した民間の認定資格です。
認定者数は2023年3月時点で、34都道府県に190名です。

メッセンジャーナースの認定を受けるには、看護師として10年以上の経験を持つことに加え、研修受講が求められます。



傾聴だけでなく、専門職として提案できるように頑張ります。

